



ぼらんていあ通信

No.431

2017年10月24日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamivainfo/>

ホームページがリニューアルしました!

ボランティア協会のホームページが、今月から新しくなりました。写真も多く、楽しいホームページになっています。

新アドレスは <http://sagamivainfo/> です。

お気に入り登録されている方は、アドレスの変更をよろしくお願いいたします。



ほかほかふれあいフェスタ2017 肌寒い天気の中、人出多く賑わう!

《あじさい会館・館内》

十月十四日(土) 十時～十五時三十分にかけて、あじさい会館とフェリスさがみはら前広場で、ほかほかふれあいフェスタ2017が開催された。十一月なみの寒さという生憎の天気で人出が心配されたが、予想に反して来場者は多かった。

開会セレモニー(手話通訳・要約筆記付き)が、十時からあじさい会館一階ホールで行われ、市長に代わる市健康福祉局長の熊坂誠氏から「三十五年の歴史あるこの行事は、障がいのある人、障がいのある人を支えるボランティアの人と市民が共に楽しめるイベントであり、まさに共生社会の理想の姿です」との祝辞をいただいた。今年のほかほか実行委員長高橋功ボランティア協会会長から「館内ではスタンラリーを楽しみながらいろいろな福祉体験を、広場では模擬店、ダンス、ミニスなど、ホールでは初止画の映画上映などもあますから、一日ゆっくり楽しんでください」と挨拶された。



開会セレモニー



会館一階受付でプログラムとスタンラリー参加券をもらい福祉体験めぐりを開始! 全部で七個のスタンラリーを集めると、景品の他に相模原グリーンライオンズクラブからお菓子ももらえる。まず六階の神奈川県フィットセンターの視覚障がい者ユーザー。まず六階の神奈川県フィットセンターの視覚障がい者ユーザー。まず六階の神奈川県フィットセンターの視覚障がい者ユーザー。まず六階の神奈川県フィットセンターの視覚障がい者ユーザー。



うまくいきますように!



カラフルで素敵な作品が!

緑風園担当の電動車椅子試乗では、子供たちが教わりながら器用に乗りこなしていた。隣で緑風園、相模原養護学校、相模原中央支援学校の皆さんのカラフルで素敵な作品が展示されていた。五階のほかほかコーヒーショップでほっと一息入れてから、四階の録音体験コーナーへ。好きな詩を読み録音後は再生した自分の朗読が聴けるとあって、結構人気があり賑わっていた。聴覚障がい者のための要約筆記体験コーナーでは、言われた文をサインペンで書いたり、パソコンで打ち込むと即スクリーンに映し出されるのでその便利さに感心する。

点字体験コーナーでは、点字表を見たり教わりながら自分の名前を手で打

*次頁に続く



要約筆記体験を!



元気いっぱい
よさこいソーラン

バンド演奏、相模女子大グループ演奏のはち切れんばかりに元気のよいチャリディングなどが演じられた。ステージ横では、天気のせいでも蒸気機関車ではなくバッテリーで動くミニ新幹線が大人や子供



点字に挑戦!

ち込むのだが、点字を読み返すのは難しい。折り紙・手芸体験コーナーでは、手芸サークル系への手の皆さんに教わりながら作品づくりに挑戦! 田名塩田から大人二人に付き添われてやって来た子供たちは、「トイレットペーパーの芯で作ったサンタのボディにいろいろつけて、サンタが完成していくのが面白くて楽

しかった」と作品の出来は「満足した様子だった。拡大写本体験コーナーでは、大きな文字の教科書があまりにきれいに出来上がっているのに感心しきり! 対象は義務教育の小中学生だぞつだ。スタンブ七個集めて景品でお菓子をゲットした!



サンタづくりに夢中!

《ウェルネスさがみはら前広場》

相当に寒かったため風邪をひいてはと大事をとり車椅子ダンスは中止になったが、他のプログラムは予定通り実施。道行く人も足を止め、活きのいいよみこいソーランや中央支援学校の先生方による

を乗せ汽笛を鳴らし走り続けていた。「皆さんが喜んでくれるのだからありがたい」とこちらもエネルギーをもらっています」と相模鉄道愛好会の皆さん。



かわやかなステップで
ヒップホップダンスを!



バザーも模擬店も大盛況!

《あじさい会館ホール》

十一時半からさがみ緑風園「リースクラブの皆さんによる「もみじ」明日があるさ」など四曲が披露され観客も一緒に口ずさんでいたし、ほかふれ初出演の第二けやき音楽隊は「世界に一つだけの花」他二曲を楽しそうに合唱! 観客も引き込まれて一緒に歌っていた。今回初めての企画である、自閉症の青年を主人公にしたドキュメンタリー風タッチの映画が上映された。青年の存在によって周りの人達がどのように変わっていくかがテーマの心に響く作品だ。もっと大勢の人にこの映画をみてもらいたいと思った。



会館内は、人の多いせいでむしろ暑いくらいだったが、いったん外に出ると寒くて体が冷えてしまふ。バザーで冬用コートを買った女性がこれで風邪をひかなくていいと言っていた。これほどの寒さにも拘わらず、来場者もむしろ例年より多いくらいで賑わっていたのは本当によかった!

(勝部・山崎)

*会場にお出かけくださった、またボランティアとして参加してくれた皆さん、ありがとうございました。

11月の記念日は?

小倉義男

11月6日、お見合い記念日です。第二次大戦後、結婚適齢期の男性は戦争で減少、女性はなかなか結婚相手を見つけることができなかった。男性もまた戦後の復興に精一杯で、結婚相手を探す余裕がなかった。こういった事情を背景に、1947年のこの日、戦後初めての集団お見合いが多摩川河畔で開催された。これには、20~50歳の男女が386人参加。現代のお見合いパーティーの原点ともいえるスタイルを取っていたそうです。それにしても、すごい人数が集まったんですね。(〽)

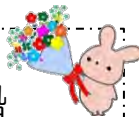


小倉画



結婚四十八年、家内が死の宣告を受け、車椅子になって四十二年、多くのボランティアに助けられ、孫も三人、離れての生活ですが幸せです。「恩返しには程遠いですが、私の出来る事をこれからも続けられたらと思っています。

九月二十四日(日)第三十五回市民福祉の集いが相模原市民会館ホールで開催され、社会福祉に功勞された方々が表彰されました。ボランティア協会からは町田紘一さんが受賞されました。町田さんからボランティア活動についての抱負等を伺いました。



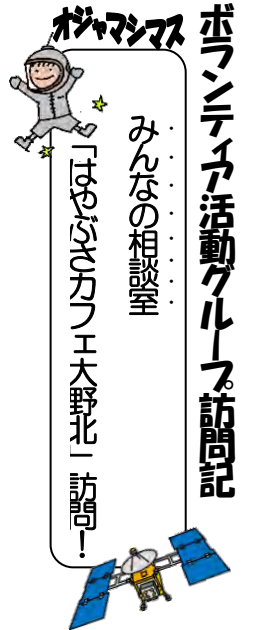
祝賀会おめでとう!



皆でテーブルを囲んで



「はやぶさカフェ大野北」訪問！
みんなの相談室
大野北地区社会福祉協議会が運営する「はやぶさカフェ大野北」の活動は淵野辺駅を南北に挟んで北の「スペースカフェ銀河」と南の「かめまだいけやきクリニック」で行われています。今回は南の開設したばかりの「はやぶさカフェ」を訪ねました。駅の傍にある鹿沼公園は春には見事な桜が咲いてお花見の人で賑わいます。広い公園の裏手の、国道十六号寄りにある「かめまだいけやきクリニック」で十時から三時までの活動と聞くと二十尾さんと同じです。



ボランティア活動グループ訪問記

みんなの相談室

「はやぶさカフェ大野北」訪問！

「はやぶさカフェ大野北」の活動は淵野辺駅を南北に挟んで北の「スペースカフェ銀河」と南の「かめまだいけやきクリニック」で行われています。今回は南の開設したばかりの「はやぶさカフェ」を訪ねました。駅の傍にある鹿沼公園は春には見事な桜が咲いてお花見の人で賑わいます。広い公園の裏手の、国道十六号寄りにある「かめまだいけやきクリニック」で十時から三時までの活動と聞くと二十尾さんと同じです。



かめまだいけやきクリニックのビルのある案内の幟

三十尾・小林



*連絡先
「はやぶさカフェ大野北」
大野北地区社会福祉協議会
電話 042-861-4512
小松・横溝

参加するのは今日が初めてという女性の方三人とテーブルを囲み、脇山さん、民生委員のSさん、そして阿部さんも交え話が弾んで居る様子。私たちも用意して下さったコーヒーを頂きながら、折り紙の作り方などを見せて頂く。
「活動の内容はこれから集まって来られるかたがたにもよるので多岐にわたると思われるかもしれませんが、集まった人の中からボランティアさんが生まれ、皆さんの思いを共有し、また相談ができる場として居心地の良いカフェとなって行けば良いですね」と阿部さんが今後に思いを馳せておられます。
まだ活動を始めたばかりのカフェですから「苦労も続くとおられますが大野北地区の南の拠点としての活動を楽しみにしております。」
「はやぶさ」で聞くと相模原で思い浮かぶのは「小惑星探査機はやぶさ」です。駅前にある案内板に「月より遠くの天体に着陸して資料を持ち帰る」という世界初の偉業を成し遂げた」とある。あの「はやぶさ」です。大野北地区にはその「はやぶさ」の運用「コマンド」を出したJAXA相模原キャンパスがあり、カフェのネーミングの由来が傳はれます。



折り紙の名札立てやヨウジ入れが用意されていた

ちょっと耳よりのニュース

ミロより優しく、ゴッホより激しく、ピカソより純真！

第10回相模原市自閉症児・者 作品展が2017年11月に開催されます。

- 10日(金) 13:00~19:00
- 11日(土) 10:00~19:00
- 12日(日) 10:00~15:00

会場:おださがプラザ ラクアルオダサガ4F
(小田急線:小田急相模原駅 北口下車1分)

入場は無料です。



芸術の秋、アートを楽しんでくださいね!

Twitter

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

C・Y



十月に入り紅葉・行楽のシーズンは程遠く、一気に冬という感じがします。
十月十四日土曜日に、あじさい会館で「ほかほかふれあいフェスタ2017」が開催され、空模様も気になる中、思いのほか爽やかな秋風が吹いてきました。スタンプリリーの受付は賑わっていました。
今年初めての試みの映画「ほくはつみがみたくなりました」が上映されました。障がい者を主人公にした物語です。障がいのない方に見ていただきたい映画ではと思いました。
小雨の中、外ではバンド演奏、阿波踊りの説明をして頂き、寒空のもと、小さなお子さん達、あじがとつ。Sでも親子乗車し楽しんでました。
心に残った「ほかほかふれあいフェスタ2017」でした。

ほごりな♡ぼらんていあ (三)
相模無鉄砲太鼓

♡「相模無鉄砲太鼓」は

相模原地域をフロンチャイプとして男女年齢に関係なく和太鼓の好きなきが集まり、日本の各地の伝統的な伝承太鼓を学び、自分たちでオリジナル創作太鼓を編曲して、地域の祭りやイベントに参加して演奏や体験太鼓で指導等を行っています。

♡「相模無鉄砲太鼓の特徴」は

会員の構成は、小学生、主婦、OL、会社役員、老人等多彩なメンバーで、会員相互の協力で鍛錬して、会員全員で編曲工夫を重ねながら和太鼓を楽しんでいます。

なお、相模無鉄砲太鼓は相模原市社会福祉協議会のフロンティア団体にも登録して、各地の老人ホーム等の慰問活動や地域の小学校や養護学校で体験太鼓を実施して太鼓の指導等を行っています。

♡「グループ名の相模無鉄砲太鼓」は

「祭りの馬鹿」の集まりであり、自分達の未熟さを恐れないでこんなイベントでも無鉄砲に活動するグループからの名称です。

演奏曲目もその名称に違わず、元氣よく勇壮に一を目標にして修練に励んでいます。

♡「相模無鉄砲太鼓結成」

平成十八年十月

♡「相模無鉄砲太鼓会員」

二十五名、男性八名、女性十七名

♡「相模無鉄砲太鼓 演奏曲目」

風(かぜ)、川(かわ)、波(なみ)、

翔(とび)、三浦(みづら)、

響(ひびき)、かまいたち

齊(いっせい)、グランドファンク、
無鉄砲のテーマ、他

平成28年の活動

- 1/10 有料老人ホーム新春の集い
- 1/14 ティサービスセンター新年会
- 2/13 有料老人ホーム誕生会
- 3/6 公民館まつり(新磯公民館)
- 3/13 座間東文化センターまつり
- 4/2 さがみ野桜まつり
- 4/27 新磯桜まつり(新磯公民館)
- 7/3 文化センターサマーアイランド
- 7/17 さがみリハビリ病院夏祭り
- 7/23 地域夏まつり(さがみが丘公園)
- 8/23 有料老人ホーム夏まつり(横山)
- 9/17 特養老人ホーム納涼祭(大野台)
- 9/19 介護施設お楽しみ会(横浜南区)
- 9/21 児童クラブ体験教室(田名小)
- 9/24 地域秋祭り(横浜栄区)
- 10/16 特養老人ホーム秋祭り芋煮会
- 10/23 座間東文化センター文化祭
- 11/3 ざる菊まつり(勝坂ざる菊園)
- 11/13 老人ホームお楽しみ会(下九沢)
- 11/19 児童クラブ体験教室(横浜田奈小)
- 11/23 農協まつり(新磯農協)
- 11/25 東林小学校和太鼓体験教室
- 12/16 ティサービスセンター年忘れ会(鶴野森)
- 12/25 無鉄砲太鼓忘年総会



お問い合わせは：相模無鉄砲太鼓 代表 山口 星司さん
e-mail : sagamimuteppoudaiko@jcom.home.ne.jp
ホームページ：「相模無鉄砲太鼓」で検索

理事会報告

十月四日(水) 十三時半から(理事八名出席)

◆広報委員会

・ぼらん通の内容、配布先などについて検討した。

◆情報部会

・新ホームページの更新内容について報告された。

◆ハンディキャップ委員会

・新規導入車両の説明などのため南地区の運転

ボランティアの話し合いを十一月四日に行つ

◆総合企画委員会

・協会運営の今後の課題について検討している。

◆講座検討委員会

・傾聴講座を二月十五、二十二日、三月二日に

おたさがプラザ(小田急相模原駅隣接)で開催

◆傾聴委員会

・十月十九日傾聴ボランティア交流会を開催

◆視覚障害者サウンドテーブルニス

相模原市大会

・十一月十一、十二日、けやき体育館で開催

・ボランティア参加者を募集中(団体付きボラ

ンティアを担当)

◆上期会計状況について検討

・順調であることが確認された。

◆地域福祉活動計画等推進委員会が新設

・ボラ協からは委員として西本敬さんが参加

◆次年度総会日程(会場予約のため検討)

・五月二十日(日)に開催予定

・五月二十日(日)に開催予定

次回理事会 十一月二日(水) 十三時半から

イベント情報

11月11日～16日

市民活動まつり 2017

日時：十一月十九日(日)十時～十五時三十分
 場所：あじさい会館(中央区富士見六の二)
 内容：市民活動の紹介や登録 ボランティアグループによるお楽しみパフォーマンス、映画上映、認知症サポーター養成講座などを行います。他にも楽しいメニューをご用意し、皆様のご来場をお待ちしております。申込みが必要なメニューもありますので、詳細については左記までお問合せ下さい。
 問合せ：中央ボランティアセンター
 TEL 042・786・6181

ボランティア協会 11月のよてい

日	時間	内容
1(水)	13時半	定例理事会
	15時半	広報委員会
6(月)	13時	ぼら通部会
8(水)	19時	ほか心れ幹事会
11(土)		黄色いレシートキャンペーン
18(土)	10時	HC委員会
	13時	事務局委員会
20(月)	13時	ぼら通印刷
21(火)	13時	ぼら通発送
27(月)	10時	総合企画委員会

上溝ふくしまつり

日時：十一月十一日(土)十時～十五時
 場所：上溝公民館(中央区上溝七の七)
 (上溝ふくしまつり) (中央区上溝八の二)
 内容：福祉バザーやふれあい演芸大会、野菜や軽食販売など楽しいイベントがたくさん！福祉体験スタンプラリーで素敵な景品プレゼント。
 問合せ：上溝地区社会福祉協議会
 TEL 042・762・0079
 (上溝ふくしまつりセンター内)

心の健康サポーター講座

日時：十一月十八日(土)～十二月九日(土)
 毎週土曜日(四回)及び体験学習一回の全五回
 受付：午後一時十五分
 講座：午後二時三十分～二時四十五分
 場所：相模原市民会館 第二大会議室
 (中央区中央三の十二)

内容：心の病を持つ人たちが社会で生活をしていくためには地域住民の手助けが必要です。心の病を持つ人たちに対する正しい理解と手助けの方法を学びながら、共に生活していくための活動をするボランティアを養成します。
 定員：五十名(申込順)
 参加費：五百円(資料代等)
 申込期間：十月一日～十一月十五日(水)
 申込・問合せ：中央ボランティアセンター
 TEL 042・786・6181

相模原市で活躍する会社紹介

Every One

代表 竹田 望穂 さん (40歳)

住所：〒252-0336 相模原市南区当麻 886-6

電話 080-4868-0908

E-mail: every1_nt@yahoo.co.com
 HP http://nozomitakeda.wixsite.com/balloon-take

(公社)相模原青年会議所 会員
 相模原 S-1 グランプリ準優勝



竹田 望穂さん

～記念日を思い出に残る日に～

- 一色あせないイベントにしてみたい
- 私たちエブリワンは誰かを驚かせたい、誰かの役に立つことが大好きな人の集まりです。
- 「子供たちの笑顔を見たい」
- 「結婚記念日や誕生日に心に残る演出をしたい」
- 「お客様が感動する営業戦略をしたい」
- 「ワクワクする今まで見たことがないサプライズイベントをしたい」
- 等の気持ちを伝えたい人を応援します。



■相模原市を中心に全国各地を飛び回り、マジックやバルーンパフォーマンス・バルーンやペーパーフラワーを使い空間プロデュースをしております。お祭りではアツと驚くパフォーマンスを!!バルーンアートやマジックで一色あせないお誕生日を演出します。

営業内容

販売・加工/インフレーターバルーン・アドバルーン広告の制作・販売・設営・特殊効果(ガス)/各種イベント全般・式典の企画・立案・施工/イベント品の販売・リース等

大野北中学校で行われた「体験講座」の感想文

ヒーローに会えてよかった！

感謝の手紙

1年 Oさん

車いすの人でも、ハンディキャブ号のおかげでとおくまでいけて、車いすの人たちにとってのヒーローなんだなと思いました。

そして今日、そのヒーローに会えて、しかもお仕事の方法までおしえてもらえて、ほんとうによかったです。お仕事がんばってください。

活動いろいろ

小中学校の授業

「みんないっひと体験講座」

当協会では市内の小中学校が行っている「みんないっひと体験講座（相模原市社会福祉協議会が指導・協力）の「ハンディキャブ・ボランティア号体験」講座に参加しています。

杉本理事・小野理事・下里HC委員・小川(進)HC委員を中心に、ハンディキャブ号での活動内容や車いすの乗降操作を生徒さんに紹介しています。昨年度は6校を訪問しました。

ハンディキャブだより

待機場所情報

町田市芹が谷公園で

ウォーキング

町田市民フォーラムへの運行の場合、待機時間が60分以上であればここがお勧めです。自然豊かでリラックスできます。

市民フォーラムから版画美術館駐車場まで車で約5分です。

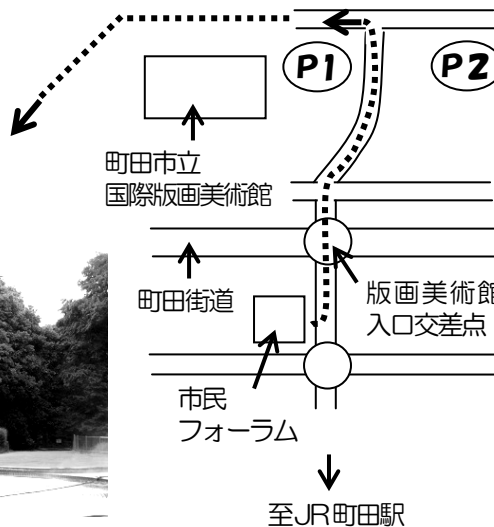
※駐車場（公園利用の駐車可）

P1：第1駐車場

P2：第2駐車場

（P1 満車時に使用）

いずれも平日無料



お知らせ

国認定運転者講習

新たに、当協会の移送援助活動（ハンディキャブ活動）に参加を希望される方は、この「運転者講習」の修了資格が必要です。受講費用の助成制度を利用できます。下記の連絡先までお電話ください。

国土交通省認定

福祉有償運送セダン等運転者講習のご案内

<日時>

11月18日（土）及び19日（日）
10時～16時30分

<場所>

福祉クラブ生協「Dayひよし」
横浜市港北区日吉5-24-33
（東横線日吉駅よりバス10分）

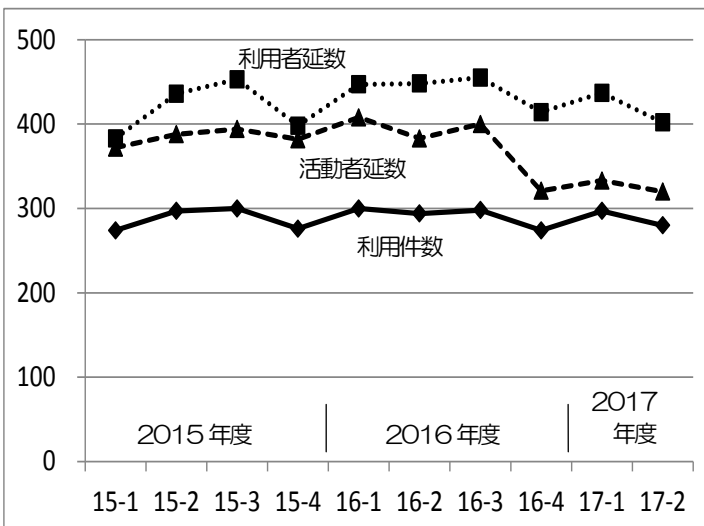
連絡先：ハンディキャブ委員 井上
042-715-0989

運行実績

第2四半期報告まとまる

第2四半期では、「セダン型」運行（運転者の自家用車を使用する運行）の利用件数の割合は38%でした。

利用件数	利用者延数	移送距離 (km)	活動時間 (時間)	活動者延数
280	402	3279	455	320



地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL11

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

地域の見守りから顔の見える関係づくり

新磯地区社会福祉協議会 安藤義三会長



新磯地区社協では、地区自治会連合会や地区民児協、老人クラブ等の協力を得て「新磯見守りステーション」を立ち上げました。

「新磯見守りステーション」では、80歳以上のおひとり、またはご夫婦

★平成29年4月1日現在
人口 13,401人
高齢化率(65歳以上) 25.1%
年少人口率(14歳以下) 13.8%

のみの世帯が対象で、見守りを希望する方に安心カードやLEDライト、防犯ブザー等が入った「安心グッズ」を無償で配布しています。その安心グッズのメンテナンスを兼ね民生委員が訪問して状況を把握、見守り活動協力者がポストに郵便が溜まっていないか、雨戸が閉めっぱなしになっていないか外から見守っています。

日頃の見守りや声かけ、さり気ない見守り等を通じて安否の確認や孤立の防止、顔の見える関係づくりを目指しています。

連絡先：市社協 新磯地区担当 水田友美 TEL042-765-7065



みんなの交流の場 サポートセンター「楽らく」

相模台地区社会福祉協議会 小川政義会長



相模台地区社協では、地域の困りごとを地域のみならずで支えあう仕組みをつくろうと、昨年11月に活動拠点となる「楽らく」をオープンしました。

「楽らく」では、足腰が痛くてゴミが出せない、電球を取換えて欲しいなど、ちょっとした困りごとの相談をコーディネーターが受け、現在50名のサポーターがお手伝いしています。

また、地域の方が気軽に立ち寄れる交流の場としても大盛況です。「友達や知り合いが増え、街で声をかけてくれる人が多くなった」と喜びの声も届きました。

“地域の中で楽しく暮らせるように”と「楽らく」から地域の輪が広がっています。

★平成29年4月1日現在
人口 45,330人
高齢化率(65歳以上) 27.5%
年少人口率(14歳以下) 10.9%

【サポートセンター「楽らく」】

開設：月～金曜日 午前10時～午後2時(土・日・祝日はお休み) TEL042-702-9905

連絡先：市社協 相模台地区担当 田代秀之 TEL042-765-7065

ボランティアさん募集！



高齢者施設での囲碁・将棋のお相手

- 内容 高齢者施設に入居されている男性の囲碁または将棋のお相手ボランティア
- ① 70歳代、将棋を楽しむ程度の方のお相手
 - ② 70歳代、囲碁を楽しむ程度の方のお相手
- 日時・場所 ① ラヴィーレ古淵（中央区東淵野辺4-17-2）
火曜日以外の平日午前、または土・日曜日
- ② デイサービスおやどり（中央区上溝7-5-3）
金曜日 10:30~11:30
- *連絡・問い合わせ先
相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982
相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181



クイズに挑戦

下記のマークは、何のマークでしょうか？



答えは、このページの下段に

《今月のイラスト

…ハロウィンも身近なイベントに！
トリック・オア・トリート》



NEW FACE

。 さんごを願うこと
 九月から事務局長(庶務)としてお世話になっております鍋谷穂子です。まだわからないことも多く緊張の日々ですが、ボラ協での時間を楽しみながら、しっかりと執務を覚えていきたいと思っています。さんごをお願いします。

☆☆☆☆
 今年度から事務局に新しくお仲間に入られた佐藤邦子さん(ほらんていあ通信四二七号八頁で紹介)も、すっかり慣れて活躍中です。事務局にお立ち寄りの際は、気楽にお声かけください。



編集後記

広報委員会の超ベテラン、というかボラ協の超ベテランの服部さんが入院されました。半世紀近くに亘る長いボランティアの活動でお疲れが出て当然です、早くお元気になられますように祈っております。(小)

先月の四三〇号八頁に掲載した、障がいのある方が書かれた詩の作者名が間違っていました。
 誤 三浦忠賞
 正 三村忠賞
 訂正してお詫びいたします。

お詫の訂正

クイズの答え

①障害者雇用支援マーク ②聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)。聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。

